

令和7年4月20日、港北消防団に新規入団した団員を対象に消防団の活動内容や必要な知識、技術などを習得するための新入団員研修を実施しました。この研修は消防団員としての立場を認識するとともに団組織や活動内容の説明、消防活動や防災啓発活動に必要な知識の習得、訓練礼式などの実習を行い新入団員が円滑に活動できるようになるための基本的な研修です。

新入団員の皆様は今後、この研修で学んだ知識を活かすとともに、各分団での訓練を通し技術を身につけ地域の安全を守る活動に参加していきます。港北消防団一丸となり、新入団員のサポートしつつ、港北区の消防力・防災力を向上させます。



『港北の消防』第71号 編集後記

令和6年秋の叙勲、褒章にて長きにわたる消防団での活躍に対し、飯田孝彦前消防団長が瑞宝双光章、羽島本部長が藍綬褒章を受章されました。誠におめでとうございます。

さて、コロナウィルスもほぼ終息し、各分団において様々な訓練や自治会の防災訓練指導が行われるようになりました。港北消防署では藤田消防団係長を迎え、新たな体制で対応しております。編集委員は二年目となり、多くの方々に目を通していただける興味深い【港北の消防】の発刊を目指して励んでおります。

(新井 武仁)

【第23期】編集委員

【本部】鈴木 基祥（編集顧問）

【本部】廣井 徳栄（編集委員長）

【第一分団】加藤 英美

【第二分団】新井 武仁

【第三分団】小泉 守

【第四分団】鈴木 勝博

【第五分団】莊山 敦

【第六分団】手塚 進一

【第七分団】中山 政光

【第八分団】畑野 悦子

団員募集広告



港北消防団 団員募集中！

あなたのチカラを消防団に！！

●入団条件

1. 満18歳以上の人（性別・国籍不問）
2. 区内在住・在勤・在学の人



※消防団に入団すると、活動等に応じて年額報酬や活動報酬が支給されます。

詳しくは「港北消防団」ウェブページにてご確認ください。



港北消防団ウェブページ 電子申請による入団



港北の消防

15-6

第71号

令和7年7月1日

編集：横浜市港北消防団（港北消防署内）



嶋村消防団長あいさつ

今年も猛暑を迎える時期となりました。

港北消防団夏季訓練会は、昨年に引き続き7月の開催といたしました。熱い中での訓練は厳しいところですが、火災、災害は、季節を選びません、私たちはどんな時でも訓練通り活動ができるように準備してまいります。

現在の目標は、有事の際に団員が、慌てることなく冷静に活動できるように基礎訓練を重ね、公設消防と一体となって現場活動が行えるように訓練に励みます。

さて、地域の皆様には、消防団活動にご理解いただき御礼申し上げます。地域を守るためには人材が必要となります。港北消防団員の確保は喫緊の課題であり、地域の皆様の後押しが必要と考えます。私たちと共に地域を守る人をご紹介しますようよろしくお願い致します。



「令和6年度震災対応訓練」

第二分団 第2班 班長 武田 翔

昨年11月16日、令和6年度震災対応訓練が市の消防訓練センターで行われ、港北区消防団から第二・第三分団が参加しました。

第二分団はホース展張後に消防車両への接続を担当し、第三分団は通常の消火訓練を行いました。

地域でも実施可能な内容を、あえてセンターで行うことにはやや疑問も感じましたが、団員として技術や練度を磨く大変貴重な機会となりました。今後の実践的で、地域防災に役立つ有意義な訓練が続くことを期待しています。



「航空支援隊訓練について」

第一分団 副分団長 岩田 正吾

去る令和6年12月8日（日）岸根公園ひょうたん原っぱにて指定飛行場外離着陸場における航空支援隊訓練が実施されました。

大規模災害等の発生により陸上交通路が途絶えてしまった場合を想定し、ヘリコプターを活用した傷病者・物資の搬入、搬出訓練を実施しました。

港北消防署部隊と航空消防隊とが連携し、離着陸場を設定、無線交信により機体を誘導し、消防団の協力により、傷病者・物資の搬入、搬出を行いました。（2回離着陸を実施）

訓練終了後、ヘリコプターのエンジンを停止させ、見学会や記念撮影が行われました。当日は晴天に恵まれ日曜日ということもあり大勢の家族連れが訪れていました。

横浜市消防局航空消防隊では、複雑多様化する災害に対応し、市民の安全・安心を「空から守る」ため、「はまちどり1」及び「はまちどり2」の2機のヘリコプターにより、情報収集・映像伝送・救助・消火・広報・救急患者の搬送等の消防活動を行っています。



「年末年始消防特別警戒」

第七分団 第5班 副班長 今井 裕介

消防団の大きな行事はいくつかあります。年明けの「出初式」は大勢のお客様をお迎えして開催される、おそらく消防団活動の中で一番華やかなイベント。

毎年暑〜い時期に開催されるのが「港北消防団夏季訓練会」。団員が日ごろの訓練の成果を発揮する、気の引き締まるイベントです。

そして一年の締めくくりとして行われているのが「年末年始消防特別警戒」です。わが班でも12月28日から4日間、夜間に資機材置場（通称：消防小屋）で団員が待機して不測の事態に備え、積載車で火災予防の広報活動をするのが恒例になっています。

我々の管内には人通りの少ない農業専用地区があり、最近はありませんが、以前は放置車両が放火されることがよくありました。十数年前の特別警戒中には、さっき巡回したばかりの場所で放置車両が燃やされて出動したことがあったため、特別警戒ではいつも以上にすぐに出動できるように態勢を整えています。

現在は『消防団ワークス』や『LINE』などの情報収集や連絡のための便利なツールが色々あり、過去よりも即応態勢が取りやすくなっています。これらを活用して、上記のような事態が起きても迅速な活動を取れるよう、今後も心掛けようと思っています。



「港北区消防出初式」

第八分団 部長 廣井 恵子

令和7年1月11日新年にふさわしい晴天の下、港北区消防出初式が行われ、私は一斉放水の補助員として参加させていただきました。式典、車両分列行進、お囃子、古式消防演技に鼓笛、和太鼓の演奏ののちクライマックスの総合演技が始まりました。私達は紅白幕の後ろで待機後出番となり、ホースを持って所定の場所へ移動することになりました。しかし予行練習の時の水の入っていないホースの移動の感覚のままだった私は、水の入ったホースを引っ張って歩くことすらやっとの移動となりました。そして一斉放水となり、如何に直上に放水するか補助員のコツを男性消防団員から教わり、地面からホースができるだけ真っ直ぐに上に向くように力いっぱいホースを押して上に向け、なんとか一斉放水を無事に終えることができました。出来栄は分かりませんが、補助員の役割と大切さを実感する放水となりました。後日見せていただいた写真には、真っ赤な積載車の列と青い空に向かって放たれた放水は、圧巻でした。

今年一年も港北区が災害のない街になるよう、微力ながら努めていきたいと思っています。



「地域に根差した消防団活動」

第四分団 第3班 副班長 木村 大樹

樽町白梅幼稚園の園児と教職員の防災教室を実施しました。

当園の副園長、同班の一員として防災教室を開き、その大切さを伝えています。綱島特別救助隊と第四分団第3班の参加のもと救助訓練実演、防火衣の試着、煙ハウス体験など普段、子ども達も目にしない内容に興味の眼差しで参加していました。日々の生活の中で子どもたちは興味や関心を持っています。「消防士さんカッコいい」という声は、子ども達の感性から出る声だと思います。防災の大切さを教えるだけでなく、こういった感性を育むことは大切なことだと感じています。少子化の時代にあらゆる業種の人手不足が懸念され、消防士や団員の確保の問題も出てくるでしょう。子ども達が就きたい仕事を選ぶときに、消防士や団員の姿を思い浮かべ、将来の担い手となればこの上なく嬉しいです。

このように地域に根差し、誰かの役に立てている喜びを糧にして、団員として日々精進して行きたいです。



「前港北消防団長 飯田孝彦氏瑞宝双光章受章について」

副団員 岡田 大輔

第三分団 第4班 班長 池谷 宏貴

令和7年3月16日（日）、新横浜プリンスホテルに於いて、前港北消防団長 飯田孝彦氏の瑞宝双光章受章祝賀会が執り行われました。飯田氏は私の所属する第三分団第4班出身であるため、班長として事務局長を仰せつかりました。当日は約180名の方にご臨席賜り、受章記念式典は厳かに、祝宴では飯田氏にゆかりのあるたくさんのご来賓の皆様にお祝いの言葉を頂戴し、飯田氏のお人柄を表すような素敵な受章祝賀会となりました。



「班長訓練会を経験して思うこと」

第六分団 第4班 班長 吉田 健二

今回班長となり、初めて班長訓練会に参加しました。団員や副班長での訓練会とは違い、班長は指導する立場を意識し過ぎて、普段とは違い班長同士でも、始めは上手く訓練できませんでした。しかし、基本操作や訓練礼式などは熟知している班長同士ですので、誤った箇所や注意点は班長間で共有する事が出来ました。私自身はまだ操作手順、訓練礼式を忘れる事も多く、更に体力的な衰えを感じる事が多く、繰り返し訓練する事が、班長として必要であると実感するばかりです。

過去には、訓練時に肉離れや熱中症を経験した事もあり、訓練前には特に身体ストレッチとまめな休憩、水分補給を心がけています。特に団員の怪我、体調不良等に注意し、指導出来る班長を目指したいと思っています。最近では、訓練指導と同様にコンプライアンス対応が班長の役割には、今後は多くなると考えられます。



「パームスプリングス祭」

第五分団 副分団長 莊山 敦

令和7年5月5日、子供の日は晴天に恵まれ、日吉5丁目にあるゴルフラウンジ&ファミリーレストラン「PALM SPRINGS」にて様々な催しがあり、港北消防団第五分団は特にファミリー層に向けての団員募集の広報活動を実施しました。

消防団積載車の展示や、ミニ消防車と子供用防火服を着ての写真撮影、アンケートに御協力いただいた方には、はずれ無しのガチャガチャ（中には消防関連の記念品入り）など様々なイベントなどを行いました。

毎年5千人規模のイベントなので、隣接スペースには、神奈川県警の白バイ、異なるパトカー2台や、フードコート、キャンピングカー車両の試乗、営業なども来ていました。

熱中症には気をつけ、水分補給、休憩などにも留意した活動となりました。

